

姫島に飛来中のチョウ「アサギマダラ」のマークイングを、姫島小学校児童が体験しました。



常連客のチョウに「名札」

姫島村に飛来中のアサギマダラ。姫島小の児童らがマークイングを体験=27日、みつけ海岸

姫島小学校（国広精一校長、74人）の6年生15人が27日、姫島村のみつけ海岸で、島に飛来中のチョウ「アサギマダラ」のマークイングを体験した。総合学習の一



チョウの羽にマーキングする児童ら=27日、姫島村のみつけ海岸

「姫島に戻ってきてね」

アサギマダラに児童マークイング

良い経験になつたと思う」と喜んでいた。

環で、郷土の魅力を学ぼうと2006年から取り組んでいる。

アサギマダラは東アジアなどに生息し、春に北上、秋に南下するチョウ。姫島

は国内有数の中継地として知られる。飛行ルートの解

明などを目的に、全国でマークイングによる調査をしている。

村民有志でつくる「アサギマダラを守る会」の会員らが指導。児童は油性ペンを使い、捕獲したチョウの羽に場所や日付、記入者のイニシャル、通し番号を書き込んだ。

西村菜乃花さん（11）は顔写真にはオス2匹に自分のイニシャルを表す「N・N」を記入。「遠くへ飛んでいたチョウがメスと一緒になり、やがて生まれるチョウに姫島へ戻ってきてほしい」と話した。

この日はNHKの情報番組の中継もあり、児童は張り切って出演した。国広校長（56）は「児童にはとても

①アサギマダラはどういう特徴のあるチョウでしょう。生息地と春、秋の動きはどうだろう。

(2013年5月28日朝刊12面)

②マークイングとはどうやって行うのでしょうか。その目的は何でしょう。

③チョウが生息しやすい環境とは？ 話し合ってみよう。